

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 ミネベア株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6479 URL <http://www.minebea.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 貝沼 由久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米田 聡 TEL 03-6758-6711
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	180,799	30.0	13,003	68.9	11,751	69.3	8,772	135.8
25年3月期第2四半期	139,101	5.0	7,700	27.2	6,942	38.0	3,720	34.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 10,803百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △6,767百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.52	22.35
25年3月期第2四半期	9.94	9.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	377,719	147,161	37.2	376.26
25年3月期	362,805	137,858	36.2	351.65

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 140,445百万円 25年3月期 131,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	27.5	27,000	165.5	24,500	219.3	17,000	842.3	45.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名 ー）、除外 1社（社名 ミネベアモータ株式会社）

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	399,167,695株	25年3月期	399,167,695株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	25,903,781株	25年3月期	25,711,627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	373,016,667株	25年3月期2Q	374,211,797株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（アナリスト向け決算説明会資料の入手方法）

平成25年11月1日（金）に、決算説明会資料を当社ホームページ（<http://www.minebea.co.jp>）に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
平成26年3月期 第2四半期決算短信補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）の日本経済は、政府による経済対策及び円安により企業収益が改善する中で、設備投資や雇用の増加と合わせて個人消費が底堅く推移するなど一層の改善が進みました。米国経済も、金融緩和政策により住宅着工は引き続き堅調で、内需を中心に緩やかな回復が続きました。欧州経済は、政府債務問題の解決や失業率の改善は遅れているものの、ドイツ、英国に景気回復の動きが見られるなど、ユーロ圏の景気は下げ止まりの兆しが見えてきました。アジア地域の経済については、中国は安定した成長が見られ、アセアン諸国は通貨安、株安及び債券安の影響を受けたこともあり景気の回復は緩やかになりました。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさらなる向上を実現するために、コスト削減、高付加価値製品と新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は円安の影響もあり180,799百万円と前年同期比41,698百万円（30.0%）の大幅な増収となりました。営業利益は13,003百万円と前年同期比5,303百万円（68.9%）の増加、経常利益は11,751百万円と前年同期比4,809百万円（69.3%）の増加、四半期純利益も8,772百万円と前年同期比5,052百万円（135.8%）の増加とそれぞれ大幅な増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

機械加工品事業は、当社の主力製品であるボールベアリングの他に、主として航空機に使用されるロッドエンドベアリング、ハードディスク駆動装置（HDD）用ピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ及び自動車用と航空機用のねじであります。主力製品であるボールベアリングの売上は、主力市場である自動車、情報関連機器向けなど、需要の回復と拡販努力により大きく増加しており、9月には過去最高の販売数量を更新するなど業績は好調に推移しました。ロッドエンドベアリングも航空会社の需要増加等による民間航空機の需要が堅調に推移し、為替も円安に推移したことから売上、利益ともに増加しました。ピボットアッセンブリーは、PC市場が低迷する中でハイエンド向けを中心としたシェア拡大により売上、利益ともに堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68,690百万円と前年同期比11,746百万円（20.6%）の増収となり、営業利益も15,427百万円と前年同期比956百万円（6.6%）の増益となりました。

電子機器事業は、電子デバイス（液晶用バックライト、計測機器）、HDD用スピンドルモーター、情報モーター（ステッピングモーター、ブラシレスモーター、DCブラシ付モーター、ファンモーター）、精密モーター及び特殊機器が主な製品であります。液晶用バックライトは、自動車向けの拡販とスマートフォン向けの新規顧客の開拓が進み、中でも超薄型の導光板等の技術面と供給力での優位性により、スマートフォンの需要増加に伴い売上が大きく増加し、業績は大きく向上しました。HDD用スピンドルモーター及び情報モーターは、前期末に実施した事業構造改革の効果もあり業績は改善し、売上、利益は増加しました。特に、情報モーターは世界経済の回復とともに需要が増加する中で、生産効率改善の取り組みやカンボジア工場への生産移管によるコスト競争力の強化に努めた結果、第2四半期には黒字転換し、業績は大幅に改善しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は111,628百万円と前年同期比29,919百万円（36.6%）の大幅な増収となり、営業利益も3,093百万円と前年同期比3,410百万円の大幅な増益となりました。

その他の事業は、金型及び内製部品が主な製品であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は480百万円と前年同期比33百万円（7.4%）の増収、営業利益は402百万円と前年同期比324百万円（413.1%）の増益となりました。

上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等5,919百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は6,532百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは、「財務体質の強化」を主要な経営方針とし、総資産の圧縮及び負債の削減等を進めております。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は377,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,914百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金、たな卸資産及び投資有価証券の増加によります。負債は230,557百万円となり前連結会計年度末に比べ5,610百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加と短期借入金の減少によります。純資産は147,161百万円と前連結会計年度末に比べ9,303百万円増加し、自己資本比率は37.2%と前連結会計年度末に比べ1.0ポイント増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は26,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,477百万円の減少となりました。また、前年同期末比7,208百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動では、税金等調整前四半期純利益、売上債権及び仕入債務の増加並びに減価償却費等により22,967百万円の収入となり、前年同期に比べ15,093百万円の収入の増加となりました。投資活動では、主に有形固定資産の取得及び子会社株式の取得により13,959百万円の支出となり、前年同期に比べ7,166百万円の支出の減少となりました。また、財務活動では、短期借入金の返済及び配当金の支払等により11,445百万円の支出となり、前年同期に比べ21,548百万円の収入の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、日本経済が一層の回復基調となり、米国経済も緩やかな回復が見られるなど堅調に推移したことで業績に好影響をもたらしました。第3四半期連結会計期間以降も世界景気はさまざまなリスク要因はあるものの、回復状況にあると想定されます。このような状況の中、受注は好調に推移しており、下半期の業績も好調が見込まれますので、現時点で予想可能な範囲で通期の業績予想を見直しました。この結果、通期の連結業績予想を次のとおり変更いたします。

	今回発表通期予想	前回発表通期予想
売上高	360,000百万円 (127.5%)	343,000百万円 (121.5%)
営業利益	27,000百万円 (265.5%)	19,200百万円 (188.8%)
経常利益	24,500百万円 (319.3%)	16,700百万円 (217.6%)
当期純利益	17,000百万円 (942.3%)	11,200百万円 (620.8%)

() は対前期比率

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

ミネベアモータ株式会社は、平成25年4月2日付で当社を存続会社とした吸収合併により解散したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,182	34,723
受取手形及び売掛金	62,645	77,675
有価証券	1,415	965
製品	21,430	21,077
仕掛品	15,714	16,395
原材料	11,354	11,593
貯蔵品	4,023	4,466
未着品	5,711	6,963
繰延税金資産	5,648	5,595
その他	8,991	7,505
貸倒引当金	△141	△177
流動資産合計	170,976	186,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,614	129,434
機械装置及び運搬具	273,704	274,729
工具、器具及び備品	49,562	49,715
土地	23,784	23,765
リース資産	1,210	1,171
建設仮勘定	8,358	5,988
減価償却累計額	△312,472	△317,239
有形固定資産合計	170,762	167,564
無形固定資産		
のれん	3,502	3,592
その他	1,366	2,456
無形固定資産合計	4,868	6,049
投資その他の資産		
投資有価証券	7,842	9,411
長期貸付金	121	115
繰延税金資産	5,423	5,413
その他	3,341	2,942
貸倒引当金	△582	△606
投資その他の資産合計	16,146	17,276
固定資産合計	191,777	190,889
繰延資産	51	44
資産合計	362,805	377,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,397	31,975
短期借入金	65,966	57,355
1年内返済予定の長期借入金	19,237	14,550
リース債務	244	241
未払法人税等	821	2,036
賞与引当金	4,138	6,706
役員賞与引当金	—	60
環境整備費引当金	164	224
事業構造改革損失引当金	465	38
その他	17,048	16,859
流動負債合計	128,484	130,048
固定負債		
社債	10,000	10,000
転換社債型新株予約権付社債	7,700	7,700
新株予約権付社債	203	15
長期借入金	67,305	71,585
リース債務	345	330
退職給付引当金	8,147	7,686
執行役員退職給与引当金	178	143
環境整備費引当金	1,060	943
その他	1,521	2,103
固定負債合計	96,463	100,509
負債合計	224,947	230,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	68,258	68,258
資本剰余金	94,756	94,775
利益剰余金	40,925	48,204
自己株式	△9,521	△9,588
株主資本合計	194,419	201,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,088	1,337
繰延ヘッジ損益	△6	△2
為替換算調整勘定	△61,643	△60,168
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△2,531	△2,370
その他の包括利益累計額合計	△63,092	△61,205
新株予約権	51	94
少数株主持分	6,479	6,622
純資産合計	137,858	147,161
負債純資産合計	362,805	377,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	139,101	180,799
売上原価	107,878	141,624
売上総利益	31,222	39,175
販売費及び一般管理費	23,522	26,171
営業利益	7,700	13,003
営業外収益		
受取利息	189	253
受取配当金	72	79
為替差益	51	—
保険配当金	178	189
その他	278	379
営業外収益合計	770	902
営業外費用		
支払利息	1,234	1,157
為替差損	—	24
その他	294	971
営業外費用合計	1,528	2,154
経常利益	6,942	11,751
特別利益		
固定資産売却益	245	25
投資有価証券売却益	—	53
特別利益合計	245	79
特別損失		
固定資産売却損	12	22
固定資産除却損	69	24
減損損失	—	963
災害による損失	1,461	—
事業構造改革損失	4	157
貸倒引当金繰入額	669	—
環境整備費引当金繰入額	7	12
特別損失合計	2,225	1,180
税金等調整前四半期純利益	4,962	10,650
法人税、住民税及び事業税	2,103	1,889
法人税等調整額	△611	290
法人税等合計	1,491	2,179
少数株主損益調整前四半期純利益	3,470	8,471
少数株主損失(△)	△249	△301
四半期純利益	3,720	8,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,470	8,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282	248
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	△9,952	1,919
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	—	160
その他の包括利益合計	△10,238	2,332
四半期包括利益	△6,767	10,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,154	10,660
少数株主に係る四半期包括利益	△613	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,962	10,650
減価償却費	9,553	11,730
減損損失	—	963
のれん償却額	731	303
事業構造改革損失	—	53
受取利息及び受取配当金	△261	△333
支払利息	1,234	1,157
固定資産売却損益 (△は益)	△232	△3
固定資産除却損	69	24
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△53
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,120	△13,245
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,096	△243
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,767	11,718
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	659	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,082	2,605
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	211	△502
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△131	500
執行役員退職給与引当金の増減額 (△は減少)	12	△34
製品補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	—
環境整備費引当金の増減額 (△は減少)	△21	△105
事業構造改革損失引当金の増減額 (△は減少)	△96	△447
その他	△403	△407
小計	8,950	24,408
利息及び配当金の受取額	257	321
利息の支払額	△1,227	△1,148
法人税等の支払額	△1,438	△951
法人税等の還付額	88	336
保険金の受取額	1,245	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,874	22,967

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,726	△7,931
定期預金の払戻による収入	4,973	6,135
有価証券の取得による支出	—	△103
有価証券の売却による収入	63	27
有形固定資産の取得による支出	△20,668	△9,488
有形固定資産の売却による収入	273	464
無形固定資産の取得による支出	△206	△471
投資有価証券の取得による支出	△158	△498
投資有価証券の売却による収入	—	154
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,888
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	355	—
貸付けによる支出	△11	△30
貸付金の回収による収入	8	43
その他	△28	△371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,125	△13,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,075	△9,108
長期借入れによる収入	5,170	5,000
長期借入金の返済による支出	△1,483	△5,407
新株予約権付社債の償還による支出	—	△247
自己株式の取得による支出	△2,154	△256
自己株式の処分による収入	170	204
配当金の支払額	△1,515	△1,493
リース債務の返済による支出	△157	△136
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,103	△11,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△793	959
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,941	△1,477
現金及び現金同等物の期首残高	23,365	28,223
非連結子会社の連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,537	26,745

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械加工品	電子機器	計				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	56,944	81,709	138,654	447	139,101	—	139,101
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,373	314	1,687	10,002	11,690	△11,690	—
計	58,317	82,024	140,342	10,450	150,792	△11,690	139,101
セグメント利益 又は損失(△)	14,471	△317	14,154	78	14,233	△6,532	7,700

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金型及び内製部品が主な製品であります。

2. セグメント利益又は損失に係る調整額は、のれんの償却額△731百万円、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等の全社費用△5,801百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械加工品	電子機器	計				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	68,690	111,628	180,318	480	180,799	—	180,799
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,834	661	2,495	11,766	14,261	△14,261	—
計	70,524	112,289	182,813	12,247	195,061	△14,261	180,799
セグメント利益	15,427	3,093	18,520	402	18,923	△5,919	13,003

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金型及び内製部品が主な製品であります。

2. セグメント利益に係る調整額は、のれんの償却額△303百万円、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等の全社費用△5,616百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社	合計
	機械加工品	電子機器	計			
減損損失	—	963	963	—	—	963

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間より、経営効率の改善と経営判断のスピードの向上を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「機械加工品事業」、「回転機器事業」及び「電子機器事業」の3区分から、「機械加工品事業」及び「電子機器事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。